



デコラ施工要領書

内装仕上げ下地処理手順

外装仕上げ下地処理手順

仕上げ材施工手順

カラーラ

テセオ

タット

イスページ

インカント

ライムペイント

ナチュラルワックス/メタルワックス

イドロシーラー

※ダイヤモンドシステム別紙

(輸入元)

株式会社オンザウォール

〒422-8005

静岡県静岡市駿河区池田 364-1

TEL 054-368-4386

FAX 054-368-4387

2020/9

内装仕上げ下地処理手順

①石膏ボードパテ処理（内装仕上げ材共通）

※塗り壁専用パテ 下塗り用／上塗り用 をご使用ください。

【下塗り用】ヤセが少なく細粒。厚付性能と作業性を両立。

【上塗り用】超細粒。パテのつなぎが出にくい塗り壁用パテ。

下パテは攪拌機にて攪拌してからご使用下さい。上パテはコテ板の上でよく練ってからご使用下さい。硬く感じる場合は2%程加水すると塗りやすくなります。

- 1) 石膏ボードのVカット部を「下塗り用」パテで埋めてください。
- 2) ジョイント部分を35^{ミリ}ファイバーテープで補強します。
出隅・入隅は50^{ミリ}ファイバーテープで巻き込んでください。
- 3) ファイバーテープが隠れるよう「下塗り用」パテで10^{センチ}～15^{センチ}幅で1回目のパテ処理をし**十分乾燥**させます。この際パテが薄過ぎるとメッシュ透けの原因になります。
ビス頭も「下塗り用」パテにて処理してください。
- 4) 乾燥後「上塗り用」パテにて20^{センチ}～25^{センチ}幅で2回目のパテ処理をし**十分乾燥**させます。この際パテが薄過ぎるとメッシュ透けの原因になります。ビス頭も「上塗り用」パテにて処理してください。



※パテ処理でやせた部分やテープの透けがない状態にしてください。

※パテが十分乾燥していない状態で次の工程へ進みますとパテの硬化不良の原因となりますのでご注意ください。

※プラスチックのコーナー材を使用した場合はその上に接着増強剤を塗布してください。

※出隅のPBの小口が出ている箇所はファイバーテープを貼る前に、接着増強材を塗布し粉っぽさを抑えてからファイバーテープとパテ処理をしてください。粉っぽさが残るとファイバーテープの浮きや剥離の原因となります。

★コンパネ合板等の下地処理（内装仕上げ材共通）

1) 灰汁（アク）止めシーラーを塗布します。

2) 石膏ボード同様ジョイント部にファイバーテープで補強しパテ処理をして下さい。

※コンパネ合板等は水分の吸い込みによる小口の膨張がクラックの原因となる場合がございます。

※紙付き合板（Mクロス等）は使用しないでください。仕上げ面のしわやアクの恐れがあります。

★古壁・コンクリート・モルタル下地処理（内装仕上げ材共通）

1) 灰汁（アク）止めシーラーを塗布します。

2) 状況によっては下塗り用パテにて不陸調整して下さい。

※劣化や剥離など傷みが激しい場合は一度剥離させてから灰汁止めから行って下さい。

②専用プライマー（ドックプライマー）を塗布します。必須です。

1 缶 5 ㍓で標準施工面積は 80~100 m²です。水で倍に希釈して下さい。
乾燥時間は約 2~3 時間です。

※②-2 ライムペイント専用プライマー（ミネラルプライマー）を塗布します。

必須です。 1 缶 5 kg 標準施工面積は 30~43 m²です。水で 20~30% 希釈して下さい。
使用量目安は 150 g~200 g/m²です。1 度塗りで乾くと白くなります。

③各種仕上げ材を施工してください。

全て着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。※タデラクトを除く

④保護ワックス塗布がおすすです。

外装仕上げ下地処理手順

☆推奨下地及と推奨ベースモルタル材

セメントボード/※サイディング/EPS/軽量モルタル/ブロックなど

※無塗装板サイディングは必ず寒冷地仕様（低伸縮性）をご使用下さい。

※サイディング板間目地はコーキング打ちせず、固めに練ったアデジーボ等を詰めて下さい。窓まわりはコーキングして下さい。

★軽量モルタル下地の場合は①②不要です。

①接着プライマー 【商品名：アトモ】

◎別売りのプライマー（アトモ）を塗布します。

1 缶 15 ㍓です。水で 2 倍に希釈して下さい。乾燥時間は約 2 時間です。

※プライマー乾燥後の長期放置は紫外線や雨による劣化の原因となります。

②ベース材+全面メッシュ 【商品名：アデジーボ -】

◎粉体 25kg に対して 6~8 ㍓水を入れて十分攪拌下さい。

◎下地材に 2 ㍓程度塗り付け全面にメッシュを伏せ込めます。メッシュの推奨貼り方向は横張りです。

◎乾燥後、メッシュの透けが大きい場合は再度アデジーボを薄く塗ってメッシュ透けを補修して下さい。

③着色プライマー塗布【商品名：マルコテンプライマー粒入り】

1 缶 15 ㍓です。水で 30% 程度希釈して下さい。乾燥時間は約 2 時間です。

乾くと白くなりますので仕上げ材が白の場合はそのままご使用ください。

仕上げ材が白以外の場合は仕上げ材に対応した着色済みプライマーを塗布して下さい。

乾燥後色が薄い箇所は再度塗布して下さい。

※プライマー乾燥後の長期放置は紫外線や雨による劣化の原因となります。

④各種仕上げ材を施工してください。

全て着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。※タデラクトを除く

⑤コート材塗布【商品名：イドロシーラー】

仕上げ材施工手順

【カラーラ 内外装】の内装仕上げ方

使用道具：コテ

塗り回数：1～2度塗り

乾燥時間：1回目 8～12時間

2回目 48時間

A. ラフ仕上げの場合 →1度塗り ※内装のみ

ステンレス製の仕上げコテ（0.3～0.5ミリ程度）で施工して下さい。塗り厚1ミリ～2ミリ程度で均一に塗り付け後、コテにて柄付けを行います。厚塗りは表面の細かなひび割れの原因となりますのでご注意ください。ウェーブ又はランダムパターンは1度塗りで完成です。

B. 押え仕上げ／磨き仕上げの場合 →2度塗り＋押え＋磨き

1度目は薄く塗り付け8時間以上乾燥させてください。

2度目も薄く塗り付け手につかない程度に乾いたら、適度な力を加え壁に押し当てる様に動かして下さい。加圧により材料密度が高まりザラザラした表面からツルとした表情に変わります。押え仕上げはここで完成です。

磨き仕上げの場合は加圧作業を繰り返す事により光沢が増します。また1度目、2度目の塗り付け時に少量ずつ弧を描く様に材料を付ける事により柄が付き、奥行きと艶のある表情に仕上がります。

★磨き過ぎはくすみの原因となりますのでご注意ください。

★カラーご使用時は色の濃淡がでます。

★磨きの際は必ずきれいなコテをご使用下さい。

★ローラーでの塗り付けはできません。

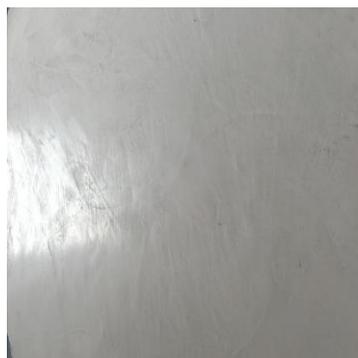
◎保護材の併用もお勧めです。

内装はナチュラルワックス、メタルワックスからお選びください。

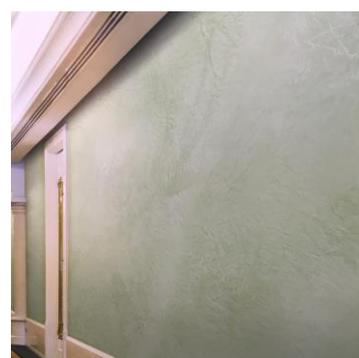
◎外部使用時は、保護材のイドロシーラーを併用してください。



ランダム仕上げ



磨き仕上げ



カラー磨き仕上げ

【テセオ 内外装】の内装仕上げ方

使用道具：コテ

塗り回数：1～2度塗り

乾燥時間：1回目 8～12時間
2回目 48時間

A. ラフ仕上げの場合→1度塗り ※内装のみ

ステンレス製の仕上げコテ（0.3～0.5ミリ程度）で施工して下さい。塗り厚1ミリ～2ミリ程度で均一に塗り付け後、コテにて柄付けを行います。厚塗りは表面の細かなひび割れの原因となりますのでご注意ください。ウェーブまたはランダムパターンは1度塗りで完成です。

★カラーよりも骨材が大きく粗い表情を楽しめます。

B. スクラッチ仕上げの場合→2度塗り＋スクラッチ

1度目は薄く平滑に塗り付け、8時間以上乾燥させてください。

2度目も薄く塗り付け手につかない程度に乾いたら、軽く擦ってください。表面が平らになったらコテのエッジなどで骨材を転がし表面に傷をつけます。削れた材料は除去し軽く表面を擦り完成です。

★最初に擦り過ぎると骨材が埋まり転がし難くなりますのでご注意ください。

★カラーご使用時は色の濃淡がでます。

★擦りの際は必ずきれいなコテをご使用下さい。

★ローラーでの塗り付けはできません。

◎保護材の併用もおすすめです。

内装はナチュラルワックス、メタルワックスからお選びください。

◎外部使用時は、保護材のイドロシーラーを併用してください。



スクラッチ



完成



キャタピラー型ローラーで特徴的なスクラッチもできます。

【タット 内装】の仕上げ方

使用道具：コテ

塗り回数：1～2度塗り

乾燥時間：1回目 8～12時間

2回目 48時間

押え仕上げ／磨き仕上げの場合 →2度塗り＋押え＋磨き

1度目は薄く塗り付け8時間以上乾燥させてください。

2度目も薄く塗り付け、手につかない程度に乾いたら、適度な力を加え壁に押し当てる様に動かして下さい。加圧により材料密度が高まりザラザラした表面からツルっとした表情になります。

★磨き過ぎはくすみの原因となりますのでご注意ください。

★カラーご使用時は色の濃淡がでます。

★磨きの際は必ずきれいなコテをご使用下さい。



◎保護材の併用もお勧めです。

内装はナチュラルワックス、メタルワックスからお選びください。

【イスペーク 内装】の仕上げ方

使用道具：コテ

塗り回数：2～3度塗り

乾燥時間：1回目 8～12時間／2回目 3時間程度／3回目 48時間

鏡面磨き仕上げ2～3度塗りです。

ステンレス製の仕上げコテ（0.5ミリ程度）で施工して下さい。

1度目は下地が透けない程度に平滑に塗り付け、8時間以上乾燥させてください。

2度目以降の塗り付け時に少量ずつ弧を描く様に材料を付ける事により柄が付き、奥行きと艶のある表情に仕上がります。手につかない程度に乾いたら、適度な力を加え壁に押し当てる様に動かして下さい。加圧により材料密度が高まり表面からツルっとした表情に変わります。

3度塗りの場合は、2度塗り時には柄付けのみで、押し当ては不要です。3度目に押し当てを行って下さい。3時間以上乾燥させ、3度塗りを行ってください。

3度塗りが、より奥行きと艶のある表情に仕上がります。

★下塗りのコテ跡などの大きな段差は#120～240 サンドペーパーで削って下さい。

★磨き過ぎはくすみの原因となりますのでご注意ください。

★カラーご使用時は色の濃淡がでます。

★磨きの際は必ずきれいなコテをご使用下さい。



【インカント 内装】の仕上げ方

使用道具：コテ

塗り回数：1～2度塗り

乾燥時間：1回目 8～12時間

2回目 48時間

A. ラフ仕上げの場合 →1度塗り

ステンレス製の仕上げコテ（0.3～0.5ミリ程度）で施工して下さい。塗り厚3ミリ程度まで厚塗り可能です。

パターン付け用コテを用いて様々なデザインが可能です。



B. 岩肌風仕上げ→2度塗り+メタルワックス

1度目は薄く塗り付け8時間以上乾燥させてください。2度目は意図的に未塗布箇所や不均一な厚さで塗り付け凹凸感を出します。お好みで表面が乾き始めた頃に凸部をヘッドカットしてください。完全乾燥後にメタルワックスで着色が可能です。

◎保護材の併用もおすすめです。

内装はナチュラルワックス、メタルワックスからお選びください。



←メタルワックス塗布

【ライムペイント 内装】の仕上げ方

使用道具：刷毛やローラー

希釈：水で25～30%

塗り回数：2度塗り

乾燥時間：1回目 4時間

2回目 48時間

【ナチュラルワックス/メタルワックス-保護ワックス-】

の使用手法

◎内装用です。外部ではご使用しないでください。

◎1度塗りです。

コテやスポンジ等で少しずつ柄付けながら塗布します。

※塗布量により白濁や光沢低減がございますので薄めからお試してください。

【イドロシーラー - 保護材 -】の使用方法

撥水性効果で汚れが付きにくく雨で汚れを落とすコート材です。

◎ 仕上げ材が完全に乾いてから施工してください。

◎ 1 度塗り、原液のまま塗布、してください。

◎ 3 日間は雨に濡れないように養生してください。

◎ 5 年ごと塗布を推奨します。

ローラー、刷毛で塗布してください。塗り残しが無いようご注意ください。

※塗布量により白濁や光沢低減がございますので薄めからお試してください。

●使用上の注意

- 目に入った場合、直ちに水で 15 分以上洗い流し、異常がある場合は医師の診断を受けて下さい。
- 状況により保護マスク、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
- 廃棄は容器も含めその地方の廃棄物処理に適した方法で行って下さい。
- Mクロス(紙付ベニヤ)は塗装後、紙にシワが発生し、仕上げ面にも影響を与えますので使用しないでください。
- 施工は摂氏5度以上、35度以下の環境で行ってください。
- 外部施工後、完全に乾くまで(25℃で72時間雨養生をしっかりと行ってください)。

2020/9
(株)オンザウォール